



コミュニケーションについて考える

9月20日土曜日には、人権教育参観日、人権教育講演会を開催しました。今年の講演会は、西浦在住の山根美代子先生が講師を引き受けてくださいました。演題は、「よりよいコミュニケーションのために」です。子どもたちは、まずペアになり、相手の話を無反応で聞く場合と笑顔でうなずきながら聞く場合とを体験しました。コミュニケーションには、バーバルコミュニケーション（言葉）とノンバーバルコミュニケーション（言葉以外）があり、言葉以外の要素もコミュニケーションには、とても重要であることを感じ取ることができました。また、山根先生は、子どもたちの中央に立たれ、「私がどう見えているかは見る人の角度によって違います。このように自分と相手とでは、見え方も受け取り方も違うということを理解し、相手の思いや受け取り方を想像しながらコミュニケーションをとることが大切です。そのためにはコミュニケーションの練習も必要なんですよ。」とも話してくださいました。人は人との関わりなしに生きていけません。産業カウンセラー、アンガーマネジメントコンサルタント、マナーOJTインストラクターと、多様な人々と関わることを仕事とされている先生ならではの視点から、コミュニケーションの大切さについて伝えてくださいました。「話す・聞く」といったコミュニケーションスキルはもちろんですが、コミュニケーションの土台となる「相手の立場や気持ちを大切にすること」を、道德を中心とした全教育活動で養っていきたいと思います。



一秒の言葉 小泉 吉宏

「はじめまして」 この一秒ほどの言葉に、一生のときめきを感じることがある。
「ありがとう」 この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある。
「がんばって」 この一秒ほどの言葉に、勇気がよみがえってくることがある。
「おめでとう」 この一秒ほどの言葉に、幸せにあふれることがある。
「ごめんなさい」 この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある。
「さようなら」 この一秒ほどの言葉が、一生の別れになるときがある。
一秒に喜び、一秒に泣く。 一生懸命、一秒。

人権教育参観日に
6年生の授業で取
り扱った詩の一部
です。言葉の重さ、
言葉の大切さを思
わずにはいられま
せん。

言葉に勇気をもらったり、エネルギーが湧いたりすることあれば、言葉に傷ついたり、気持ちが折れたりすることもあります。言葉は諸刃の剣です。今の時代、子どもたちは、身近な人々との直接的なやり取りだけでなく、SNS等で友達や見ず知らずのだれかと話をすることがあります。顔が見えない会話は、簡単で気楽な反面、独りよがり、無責任なものになってしまうことがあります。言葉のもつ力の大きさを理解し、相手と意思を通わせるための言葉を大切に紡いでほしいと願っています。

にこにこ西浦

西浦小へどうぞお越しください！
学校と地域の今を未来につなげよう！

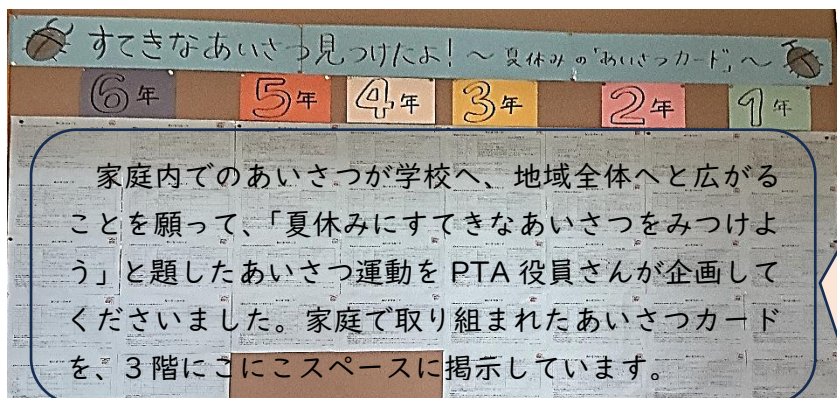


西浦小6年生、華西中学校1年生、保護者や地域の方、小中学校教職員と総勢120名が一堂に会し、10のグループに分かれて熟議を行いました。テーマは、「地域が元気になるために、自分たちにできることを考えよう」です。あいさつ、環境問題、地域行事など様々な意見が出てきました。その中で取り組みたいことを「地域元気アッププラン」としてグループごとに発表しました。発表されたプランは、さらにエヒメアヤメふるさとネットで検討し、具体的な取組にしていきます。児童生徒と一緒に考え、話し合う場は貴重です。小学校では導かれる側だった子どもたちが、一年間で全体をリードするまでに成長している。その姿を確認できるのが本熟議の魅力のひとつでもあります。一連の活動を通して、児童生徒が、地域・社会の一員として活躍してくれることを楽しみにしています。



ふれあいお便りの会

地区のお年寄りにメッセージカードを届ける「ふれあいお便りの会」を実施しました。折り紙作品や頑張っていることを書いたカードを全校児童が協力して台紙に貼り付けました。カードを喜んでくださる姿を見て、児童も嬉しかったようです。案内役をしてくださった皆様、大変お世話になりました。



今日の午後、弟がおかあさんに、こそそそと「おやすみ。」と言っていました。弟があいさつの第一歩を踏み出せて、少し成長したと思いました。(2年生のあいさつカードより)
あいさつにまつわる温かいエピソードに思わず笑顔になりました。